

藤井七冠 初海外で先勝 ベトナムで棋聖戦



将棋の第94期棋聖戦5番勝負第1局は5日、ベトナム・ダナンで指され、先手の藤井聡太棋聖(20)Ⅱ竜王

覇に向けて白星発進した。藤井棋聖の海外での対局は今回が初めて。藤井棋聖は1日に最も若く名人を奪取し、羽生善治九段(52)に続き2人目、最年少で七冠を獲得したばかり。早くも防衛戦を迎えている。今後は前人未到の全八冠制覇を目指し、棋聖戦、王位戦7番勝負の防衛戦を続けながら、残る王座の挑戦権獲得に挑む。佐々木七段は長崎県出身で、タイトル初挑戦。7月7日に開幕する王位戦への挑戦も決めており、両者は「12番勝負」を戦う。第2局は23日、兵庫県洲本市で

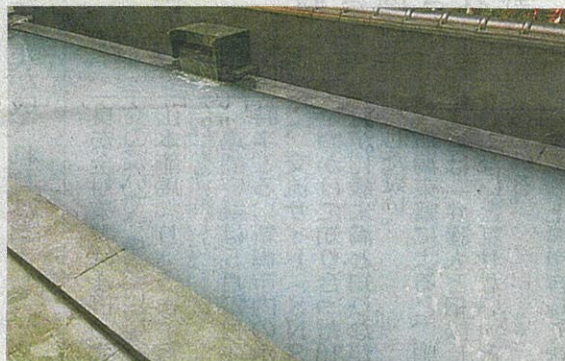
行われる。終局後、藤井棋聖は「距離感が難しい将棋だった。(海外での対戦について)素晴らしい環境を整えてくれて気持ちよく対局できた」。佐々木七段は「慎重になりすぎる部分も多く、大舞台の難しさを感じた」と話した。日本将棋連盟によると、海外での将棋タイトル戦は2019年に台湾・台北で行われた叡王戦以来となる。

(共同)

会場のリゾート施設

藤井聡太七冠が佐々木大地七段の挑戦を受ける棋聖戦5番勝負第1局の会場となったベトナム中部のリゾート施設「ダナン三日月」では、入浴剤製造の環境科学(新潟市西区)の「人工温泉装置」が使われている。入浴剤を使って温泉のような湯質を作り出すことができるという、関係者は「藤井七冠は過密日程な上、初の海外対局。しばしの癒やしの時間として利用してもらえればうれしい」と話している。

環境科学(新潟西区)の人工温泉装置 過密日程の疲れ癒やして



しやすい香りや色の成分を補って、温泉に近い雰囲気を作り出す。日本文化の発信をコンセプトの一つとしている同リゾートに評価され、温浴ゾーン内の浴る。

環境科学の人工温泉装置が使われている「ダナン三日月」内の浴場Ⅱベトナム・ダナン場に採用された。入浴剤は有名温泉地の下呂(岐阜)や草津(群馬)などをイメージした約10種類で、定期的に入れ替えられているという。

藤井七冠は1日に最年少名人となった直後の対局で、今後各防衛戦や八冠目となる王座戦の挑戦者決定トーナメントなど多忙な日々が続く。環境科学の豊島則夫社長(66)は「疲れが出る時もあると思う。日本にいるような趣の中で、ゆっくりくつろいでもらえれば」と話している。